



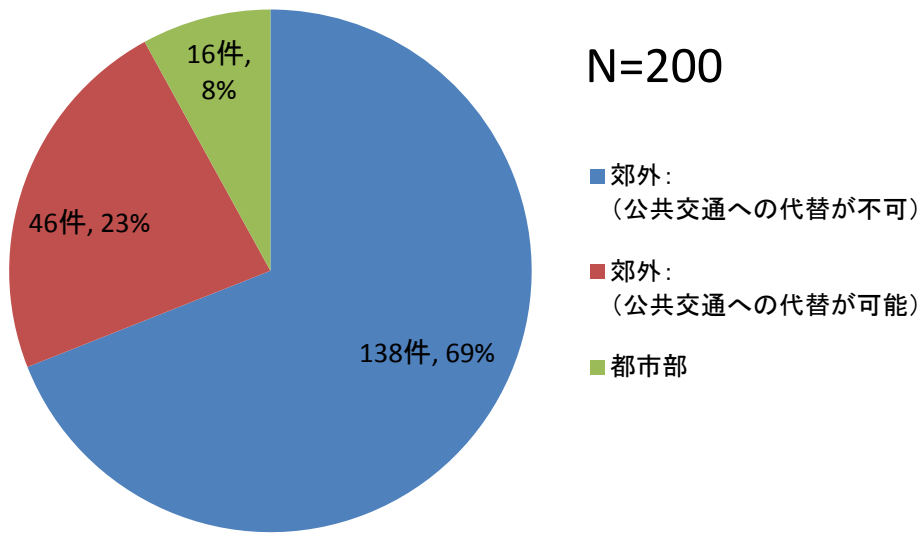
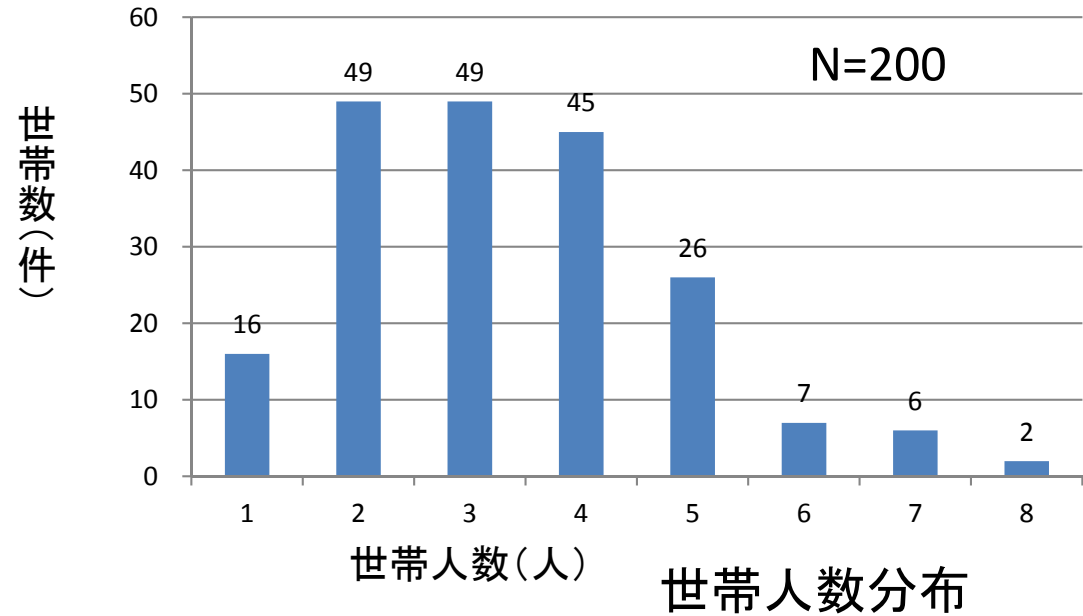
# 平成26年度 うちエコ診断結果分析



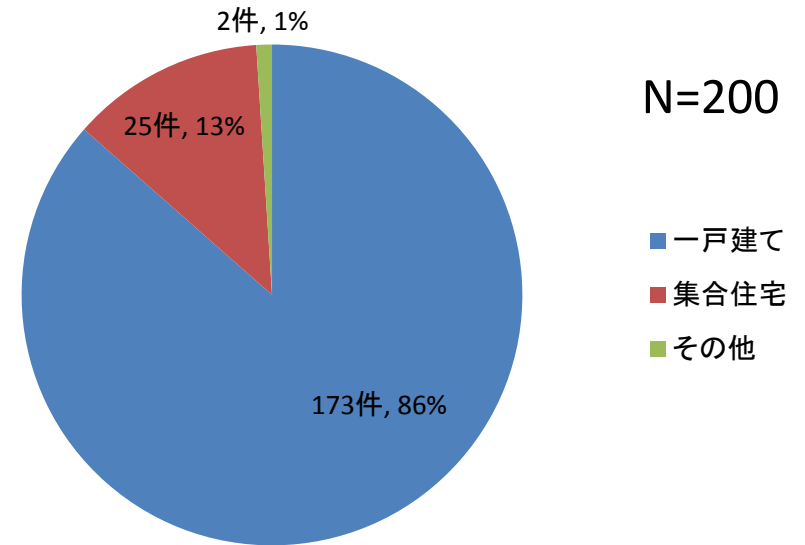
## クールアースいばらき

# ◆平成26年度：茨城県域受診世帯状況

- ・平成26年度：茨城県域でうちエコ診断を受診した世帯は200世帯。
- ・世帯人数の分布は右図の通り。2～4人世帯が主で全体の72%である。
- ・居住域は、公共交通への代替が不可能な郊外が最も多く、全体の69%。
- ・住宅は、1戸建て住宅が主で、全体の86%である。

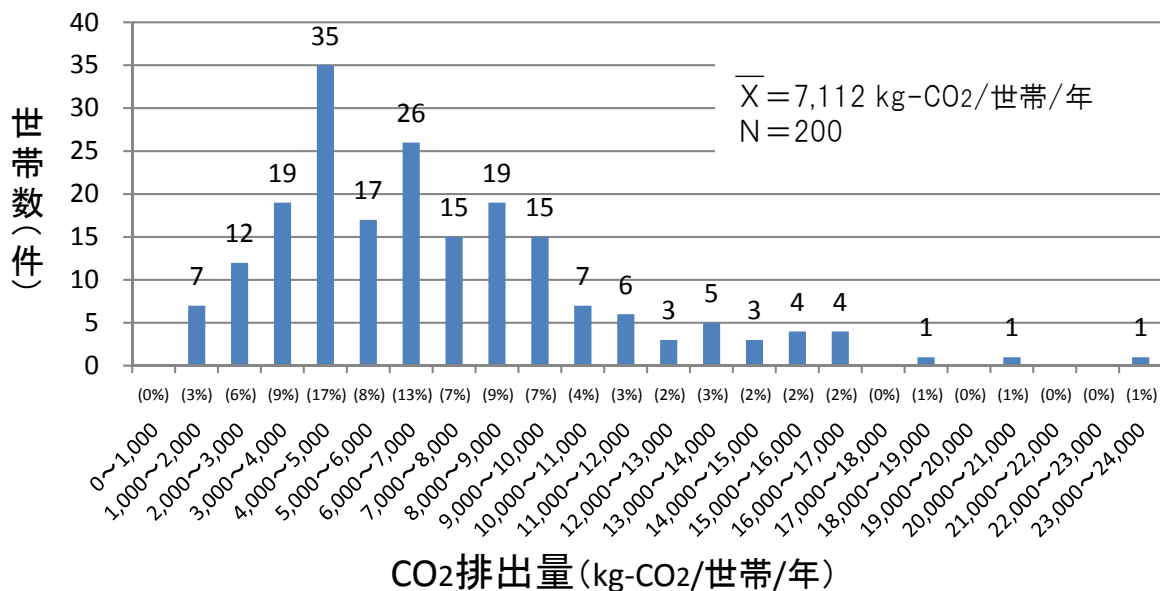


居住区域別比率



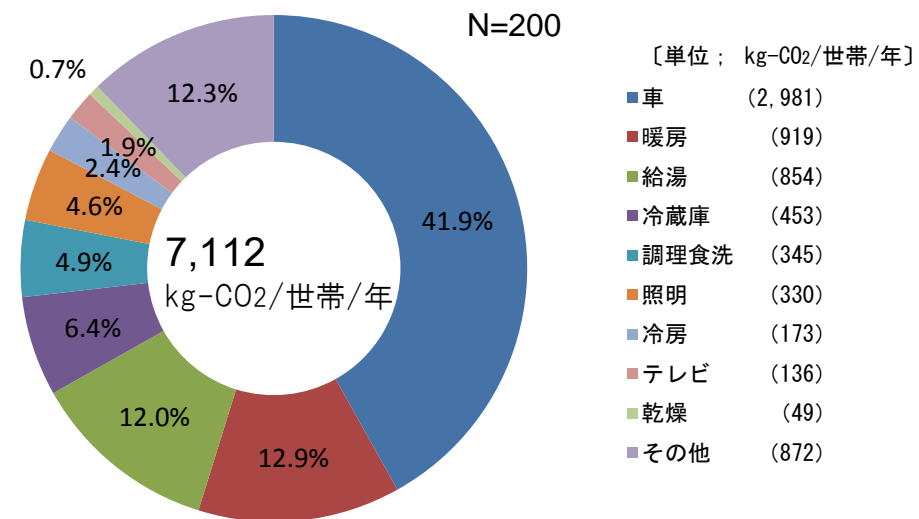
住宅形式別比率

# ◆平成26年度：茨城県受診世帯のCO2排出量



受診世帯CO2排出量分布

- ・受診世帯の現在CO2排出量の平均は、7,112 kg-CO2/世帯/年。
- ・受診世帯の中で、自家用車を所有している世帯は150世帯で、回答があった世帯の99%。
- ・そのため、分野別の排出量では車からの排出量が最も多く、全体の41.9%を占める。
- ・次いで、暖房、給湯、冷蔵庫、調理食洗の順になる。

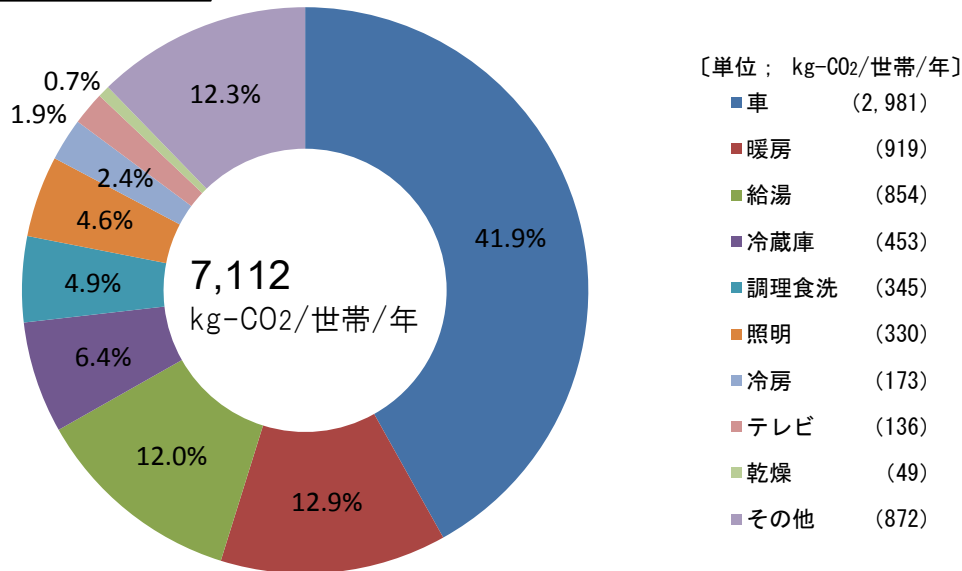


CO2分野別排出量 比率

分野別CO2排出量	受診世帯 排出量計	世帯当たり 排出量	排出比率
1:車	596,141	2,981	41.9%
2:暖房	183,851	919	12.9%
3:給湯	170,809	854	12.0%
4:冷蔵庫	90,690	453	6.4%
5:調理食洗	68,919	345	4.9%
6:照明	65,985	330	4.6%
7:冷房	34,659	173	2.4%
8:テレビ	27,136	136	1.9%
9:乾燥	9,724	49	0.7%
10:その他	174,434	872	12.3%
Total	1,422,348	7,112	100.0%

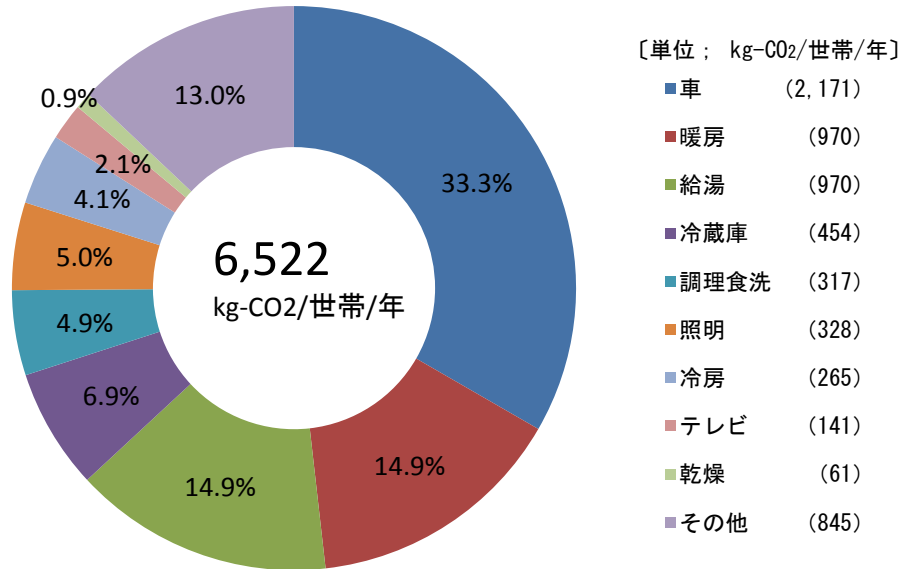
# ◆平成26年度：茨城県受診世帯のCO2排出量-2

茨城県域H26



CO2分野別排出量 比率  
N=200

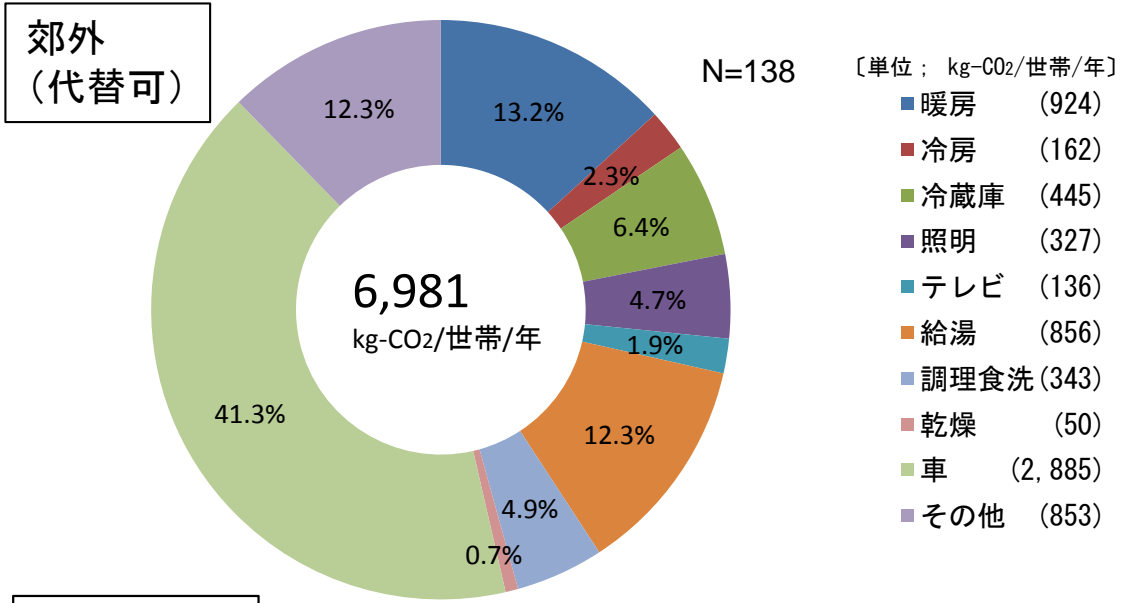
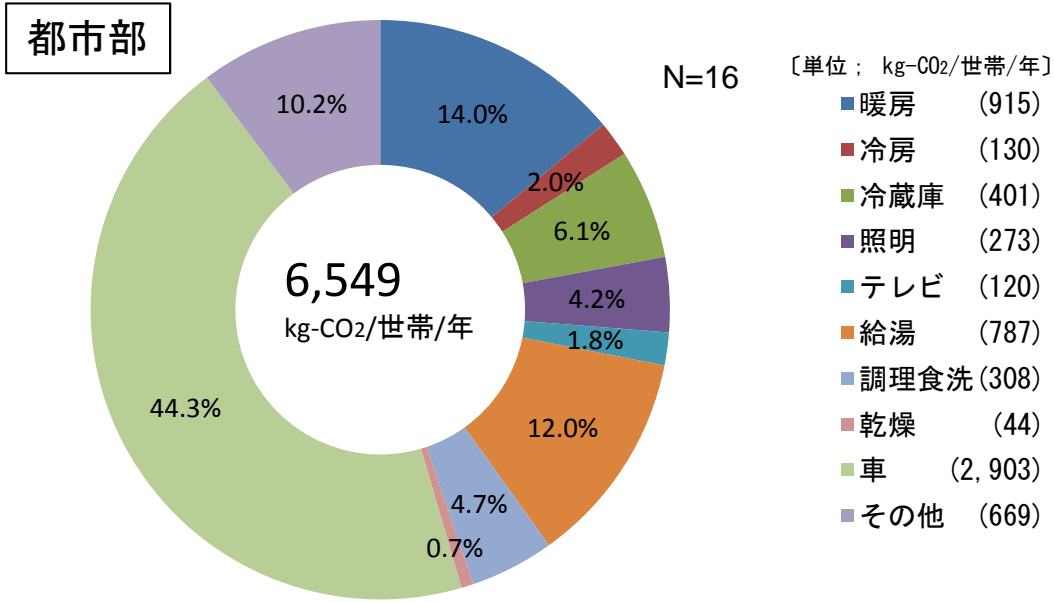
全国平均H25



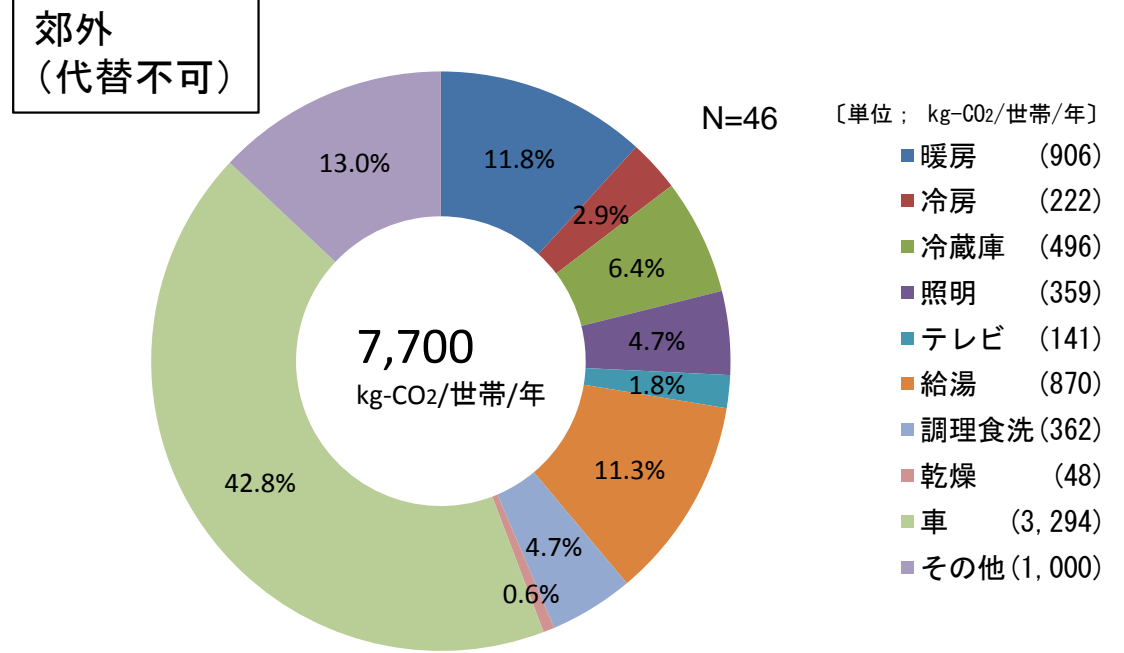
CO2分野別排出量 比率  
N=5,582

- ・世帯ごとの平均排出量について、茨城県域では、全国平均より約9%多い。( +590 kg-CO<sub>2</sub>/世帯/年)
- ・茨城県域では回答があった世帯の約99%が1台以上の車を所有しており、排出量内訳の約42%が車に関係したものの。全国でも約33%が車関連の排出であり、いずれも分野別排出量のトップである。
- ・分野別排出量で、全国より比率の大きい分野は、車。逆に、車以外の分野は全国より排出量比率は小さい。分野別排出量で比較すると、茨城県域では暖房、給湯、冷房、乾燥の分野が全国より少ない排出量であった。

# ◆平成26年度：茨城県受診世帯のCO2排出量-3



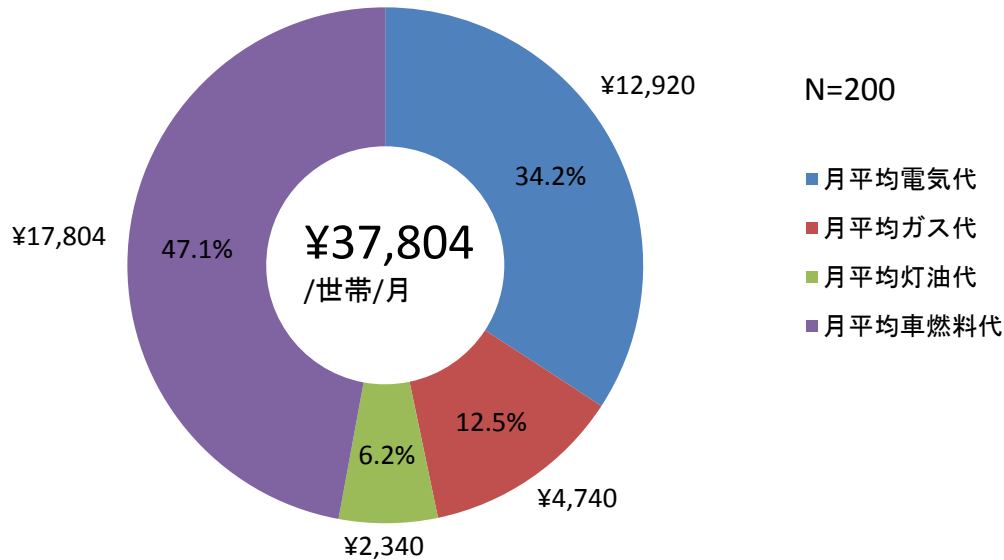
分野別CO<sub>2</sub>排出量 比率



- ・住居区域別で、都市部、郊外(代替可)と郊外(代替不可)の地域を比較すると、世帯毎の平均CO<sub>2</sub>排出量は都市部より郊外が多くなる傾向にある。分野別でも、冷房、冷蔵庫、照明、テレビ、給湯、調理食洗で郊外が増加傾向。
- ・郊外(代替不可)の地域では、必需品である車に関係した排出量が3,294kg-CO<sub>2</sub>(42.8%)と、都市部や郊外(代替可)より約400kg-CO<sub>2</sub>多い。
- ・一方、暖房、乾燥分野では、都市部と郊外を比較しても、ほぼ同程度の排出量であった。

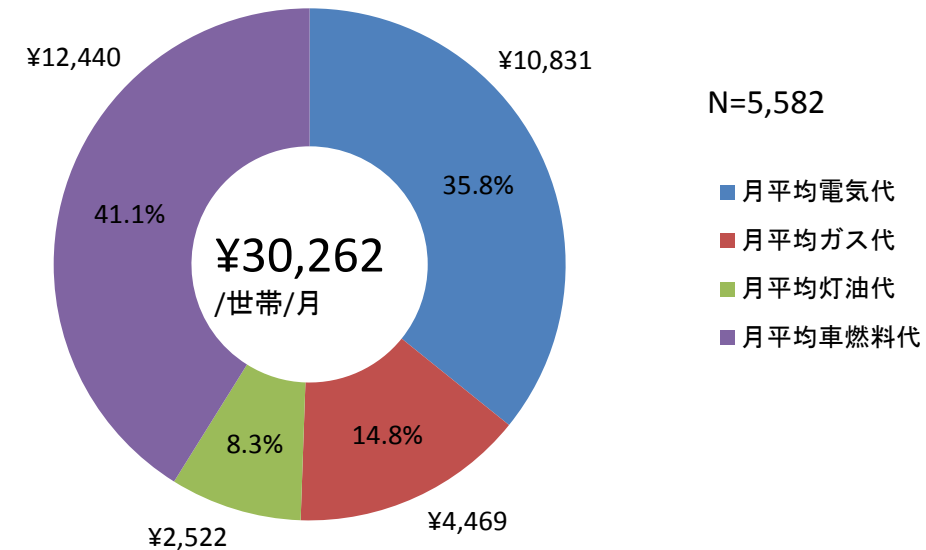
# ◆平成26年度：茨城県受診世帯の光熱費・車燃料代内訳

茨城県域H26



月平均光熱費・車燃料代内訳

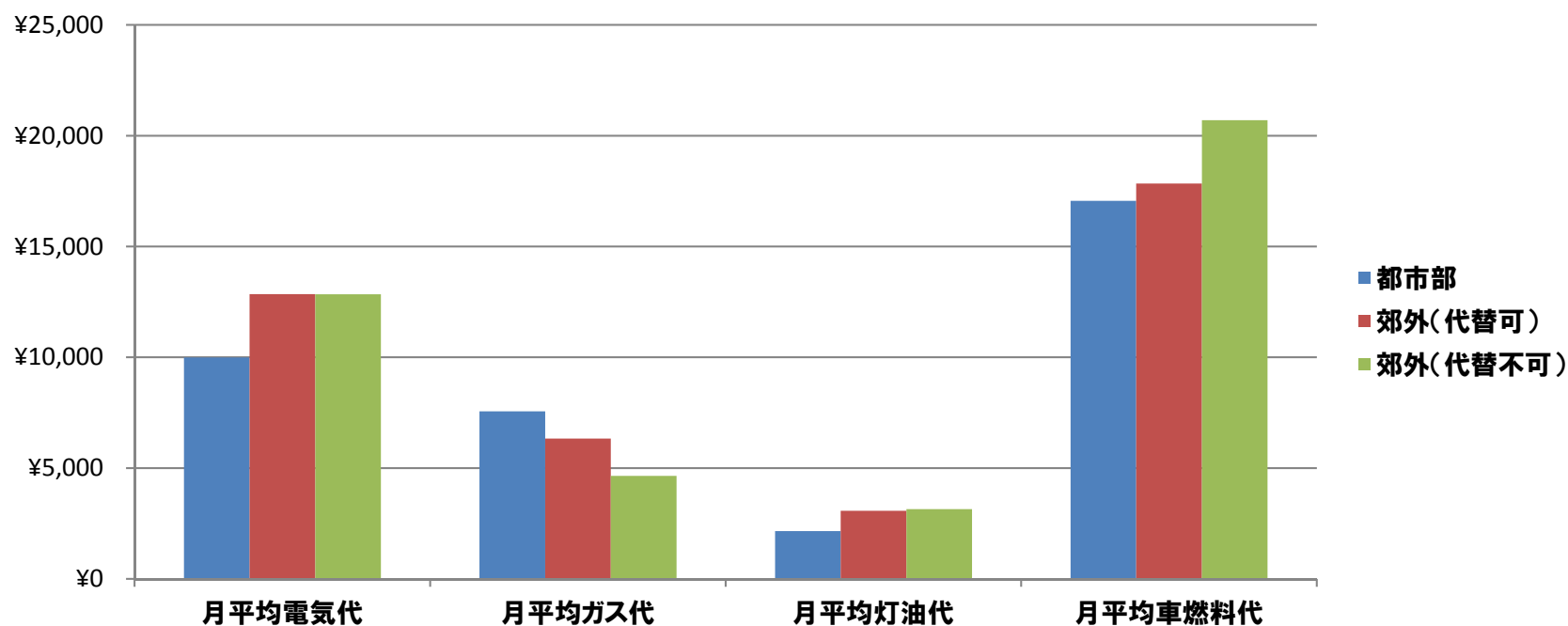
全国平均H25



月平均光熱費・車燃料代内訳

- ・光熱費・車燃料代内訳について、茨城県域は、車燃料代を全国と比較すると、車所有率が高いため、月平均で約5,360円多く、総額の47%以上を車燃料代で費やしている。
- ・光熱費を金額ベース(月平均)で全国平均と比較すると、茨城県域では、電気代が約19%、ガス代は約6%多い結果となった。
- ・一方、灯油代は全国より約7%少ない結果であった。

## ◆平成26年度：茨城県受診世帯の光熱費・車燃料代内訳

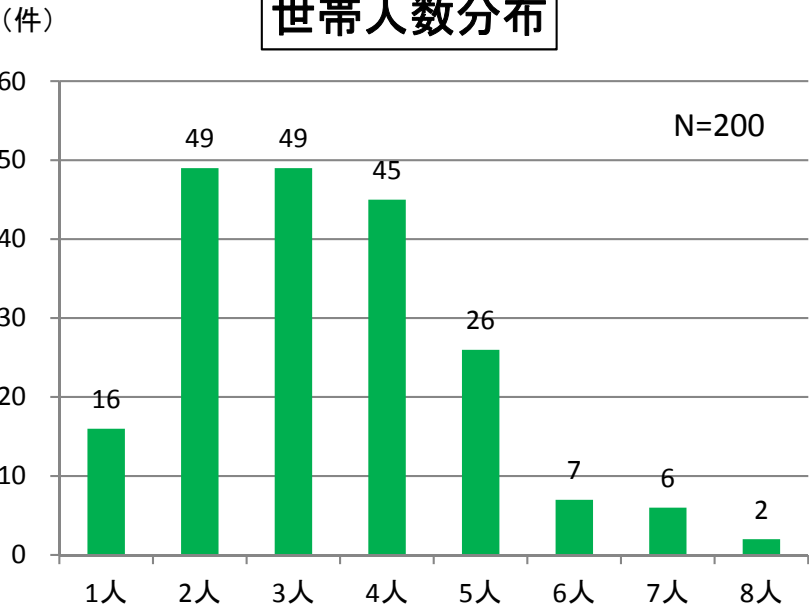


住居区域別 月平均光熱費・車燃料代内訳

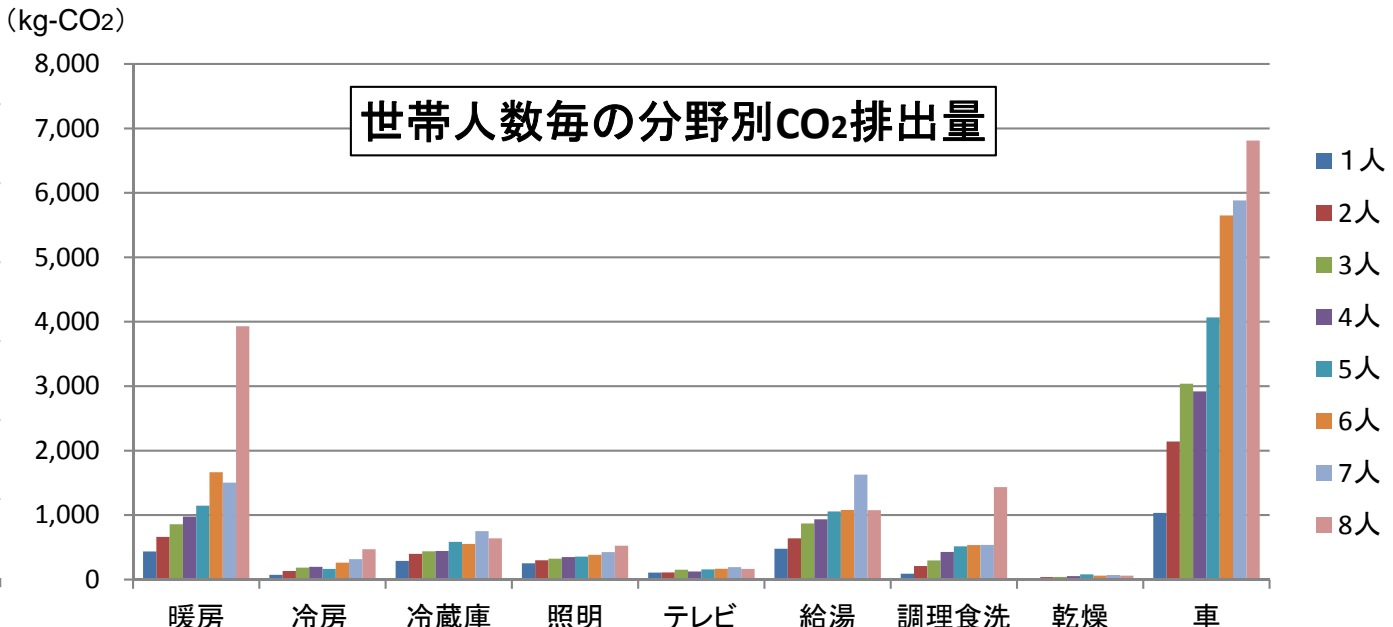
- ・住居区域別内訳では、ガス代については、都市部、郊外(代替可)、郊外(代替不可)と郊外へいくにしたがって減少傾向にある。
- ・これに対して、車燃料代は郊外へいくにしたがって増加傾向にある。これは、生活を支える移動手段として、自家用車の利用率が郊外ほど高くなるためと推測される。
- ・加えて、灯油代も郊外にしたがって増加傾向にある。また、電気代も郊外の方が多く使われる結果となっているが、郊外(代替可)、郊外(代替不可)との差はほとんどない。

# ◆(参考)平成26年度:茨城県 世帯人数別・分野別CO2排出量

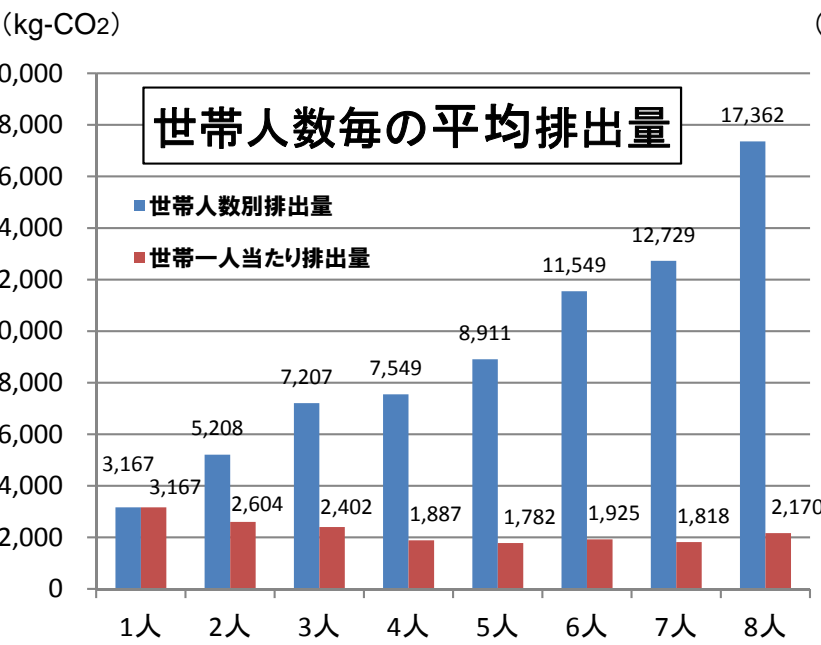
### 世帯人数分布



### 世帯人数毎の分野別CO2排出量



### 世帯人数毎の平均排出量



### 世帯人数毎・一人当たりの分野別CO2排出量

